

学習指導案 略案様式（自立活動）

すぎのこ学級		指導者	中原 久美子	特別支援学級用
題材	題材名等	手作りすごろくで遊ぼう		
	関連する自立活動の内容	区分	内容	
		人間関係の形成	(1) 他者との関わり基礎に関すること	
		コミュニケーション	(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること	
		環境の把握	(5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること	
題材目標〔個別設定〕	A 児 順番を守ってすごろく遊びに参加することができるようにする。 B 児 約束を守って遊びに参加し、進んで友だちに声をかけることができるようにする。 C 児 約束を守って遊びに参加し、進んで友だちに声をかけることができるようにする。 D 児 友だちと協力しながらすごろくを作り、進んですごろく遊びをすることができるようにする。 E 児 友だちと協力しながらすごろくを作り、友だちに声をかけながらすごろく遊びをすることができるようにする。 F 児 約束を守って遊びに最後まで参加することができるようにする。 G 児 友だちと協力しながらすごろくを作り、友だちに声をかけながらすごろく遊びをすることができるようにする。			
主な学習活動と指導上の工夫	●すごろくを振り、出た目の数に応じて駒を進めながら、途中で3つのお題に取り組む。(・チームの人とじゃんけんをする。・好きな〇〇を伝える。・チームの人とボール転がし5回する。) ●お題に対応している友だちを見て声をかけ、自分が言葉で伝える時には、書いた内容をもとに考えて言う。 ○ゲームの約束事を話し合って決め、その約束を守って取り組むようにする。			
本時 (6／全6時間)	ねらい〔個別設定〕	A 児 順番を守ってすごろく遊びに参加し、体を動かすお題に対応することができる。 B 児 約束を守って遊びに参加し、自分で考えたカードをもとに言葉で伝えるお題に対応することができる。 C 児 約束を守って遊びに参加し、相手とするお題の時、自分から声をかけたり合図をしたりすることができる。 D 児 言葉で伝えるお題の対応では、カードをもとに自分で考え、状況に応じた声かけをすることができる。 E 児 友だちとするお題で自分から声をかけて対応し、状況に応じた声かけをすることができる。 F 児 言葉で伝えるお題の対応では、カードを読んで伝え、最後まで参加することができる。 G 児 自分で考えてお題に対応し、友だちの様子に応じた声かけをすることができる。		
	学習過程	「めあて (全体)」3つのお題に答えて、友だちとすごろく遊びを楽しもう		
		「振り返り (全体)」 自分で考えたり友だちとしたりしてお題に答え、声を掛け合いながらすごろく遊びができた。		
指導・支援と留意点	●学習活動 ○支援		備考(準備物等)	
	●ゲームの仕組みや約束事を確認する。 ○前時に決めた約束の中から自分のめあてを決めさせる。 〔約束 順番を守ろう。元気な声で伝えよう。友だちに声をかけよう。〕 ○好きなもの3つについて自分の考えをカードに書く。 ○A 児の好きなものは、絵カードで対応する。 ●順番を決めてすごろく遊びに取り組む。 ○途中で遊びから離れる児童がいたら、チームの友だちに一度誘わせる。 ●学習の振り返りをする。		・すごろく台紙 ・サイコロ ・考えをまとめるカード ・3つのお題カード ・絵カード	